

おまち周辺のまちづくり

この地区で目指す姿

暮らし・仕事・子育て・学び・交流が身近に揃う歩いて楽しめるまち

実現に向けた主な取組

1. 静岡駅南口駅前広場再整備

- 駅前広場を拡張し、歩きやすく過ごしやすい空間を創出するとともに、交通動線の分離により安全で快適な駅前広場を整備します。

2. まちなかウォーカブル推進(青葉緑地再編)

- 歩道・車道・中央緑地帯を一体的に再整備し、歩きやすく過ごしやすい空間を創出し、人々の日常的な利用や交流を促進します。

3. 民間開発等まちなか再生促進助成

- まちなか再生に資する民間開発等を促進し、新たな魅力を創出することで多様な交流と投資が集まる活力あるまちを形成します。

4. 静岡都心地区まちなか再生の推進

- 公民共創による一体的なまちづくりを進め、職・住・福・商・学・遊の機能が身近に揃う利便性の高いまちなかを実現します。

5. 文化芸術に親しむまちづくりの推進

- プロの交響楽団と連携し、身近に音楽や文化芸術を楽しめる機会を充実させます。

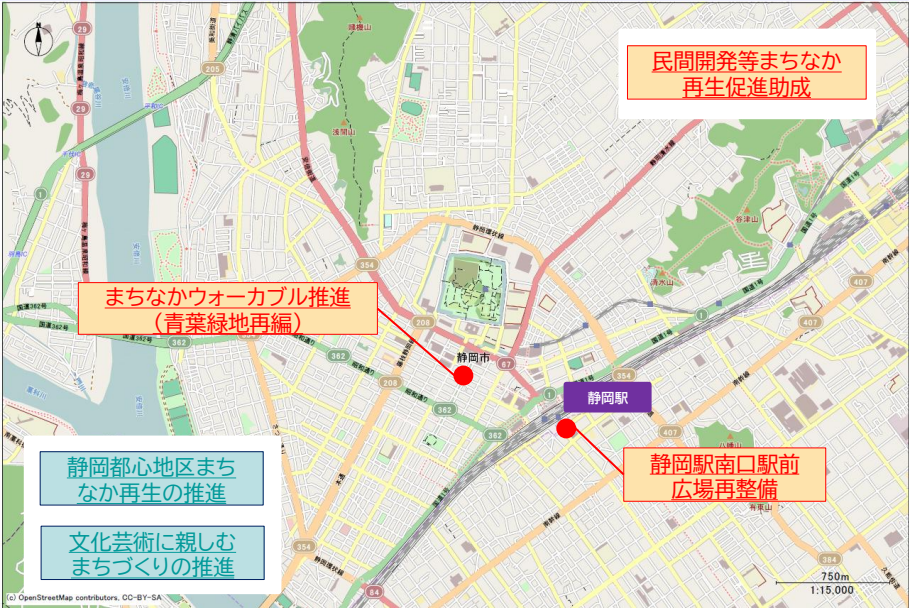
こんなことが実現されます

- 職・住・福・商・学・遊の機能が身近に揃い、仕事や買い物、子育てなどをまちなかで便利に行うことができる。
- 駅とまちのつながりが強化され、歩行者中心の空間整備により、まちなかを歩いて楽しみながら回遊できる。
- 空き店舗の利活用や再開発により、オフィスや住宅、学びや遊びの場が生まれ、まちなかの魅力が高まる。

おまち周辺図

凡例： ハードの取組 ソフトの取組

※各取組の詳細は取組名をクリック！



静岡駅南口駅前広場の再整備

取組概要

静岡駅南口駅前広場を拡張整備することで、周辺の民間開発を複合的に推進し、誰もが利用しやすく、快適で政令市の新幹線口としてふさわしい駅前空間を実感できるようにする。

- 現在、静岡駅南口駅前広場は、1994年の整備以降周辺開発が進む中、ロータリーの混雑や憩い空間が少ない等の課題を抱えています。
- 2024年度に策定した「静岡駅南口駅前広場再整備基本計画」に基づき、駅前広場を拡張し、訪れた人が歩きやすく、過ごしやすい空間を創出します。
- 公共交通（バス・タクシー）と一般車のロータリーを分離することで混雑を解消し、人々が安心して利用できる“まちのロビー空間”となるような駅前広場をつくります。



静岡駅南口駅前広場の再整備イメージ
「静岡駅南口再整備基本計画」より

今後の予定

2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年	2035年
基本設計	実施設計			工事		2030年代前半 供用開始			

まちなかウォーカブルの推進(青葉緑地再編)

取組概要

青葉シンボルロードを人が集い活動する空間として再整備することで、
まちなかで歩き、憩い、日常を過ごす時間を楽しむことができるようにする。

- 現在、道路、中央緑地帯、沿道建物の間が車止めやトイレ等によって物理的・視覚的に分断されており、通り全体としての空間的な一体感が低下しています。
- 再整備により、歩道・車道・中央緑地帯を一体的な空間として見直し、市民が歩きやすく、過ごしやすい空間を創出します。あわせて、イベントの開催や民間による利活用を進めることで、人々の日常的な利用や交流を促進します。
- 将来的には、中央緑地帯と沿道店舗を含めた一体的な広場空間として活用することで、買い物や散策の途中に気軽に立ち寄り、思い思いの時間を過ごせるようになります。



今後の予定

	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年	2035年
昭 和 通 り 市 役 所	基本設計									
	測量	実施設計								
			工事		供用開始					
昭 和 通 り 常 盤 公 園					基本設計	実施設計				
					測量		工事		供用開始	

民間開発等まちなか再生促進補助金の交付

取組概要

まちなか再生に資する計画へ支援をすることで、民間開発等による面的な老朽化建築物の建替えを促進し、安全で魅力的な都市空間を実感できるようにする。

- 現在、静岡地区においては呉服町通り沿いを中心に老朽化した建築物が密集しており、都市防災の強化と、都市機能の更新が急務となっています。
- まちなか再生に資する計画への支援を実施することで計画的な都市機能の更新と民間開発等を促進し、中心市街地の新たなまちの魅力を創出します。
- 将来的には、老朽化建築物の建替え等が進むことで、オフィスや住宅、学びの場や遊びの場などが創出され、多くの人が訪れる活気あるまちが形成されます。



今後の予定

2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年	2035年
民間開発等の進捗に合わせて随時建替え等に関する支援を実施									
開発相談 → 計画検討 → 事業採択 → 設計・工事【補助金交付】 → 建物竣工 → 維持管理・運用									

静岡地区・清水地区・東静岡地区

⑦都市・社会基盤

目指すべき未来像

都市基盤と多様な都市サービスが連動し、誰もが住みやすく、移動しやすく、居心地の良い空間が備わったまち

現状と課題

・静岡市では、地域の経済的活力を高めるために必要な土地利用に関する規制緩和の取組が十分に行われてきませんでした。このため、耕作放棄地などの未利用・低利用地が多く、多くの地域で点在する状況となっています。また、都心部では建物の老朽化や空き店舗の増加が進み、まちの魅力が低下する一因となっています。

・人口減少に伴い空き家が増加しており、今後も増加が見込まれます。静岡市は周辺市町と比べ、家賃や土地価格が高いため、若い世代の住まい確保が難しく、定住の課題となっています。また、移動需要の減少に加え、生産年齢人口の減少に伴う担い手不足により、路線バスなど中量輸送を担う公共交通の維持が困難となっています。持続可能性と利便性を両立させた、新たな地域公共交通体系の構築が急務です。

・防災面では、南海トラフ地震や激甚化・頻発化する自然災害へ対応するため、道路・河川・上下水道などの社会基盤整備と災害時の情報収集・提供や応急対応資機材の備えなどの体制強化が課題となっています。公共インフラの老朽化による維持管理コストの増大も大きな課題となっています。

由比・蒲原地区の まちづくりの推進

★取組概要

由比・蒲原地区

由比・蒲原地区において、地域資源を活かして住民や企業と連携した取組を進めることで、「自然・食・歴史・文化」を生かした仕事や体験をまちなかで楽しめ、市民や来訪者が心豊かな暮らしや多様な交流を実感できる。



国登録有形文化財「旧和屋」



「由比本陣公園」

静岡都心地区 まちなか再生の推進

★取組概要

おまち周辺

静岡都心地区において、めざすべき姿を「まちなか再生指針」により共有し、公民共創による職・住・福・商・学・遊といった機能が身近に揃う、一体的なまちづくりを進めることで、まちなかの利便性や暮らしの質を向上させる。



青葉シンボルロード実証実験の様子



青葉シンボルロードの将来像(イメージ)

大谷・小鹿地区都市再生 整備計画の策定

★取組概要

宮川・水上地区

土地区画整理事業で整備された公園や調整池などの公共施設を有効活用し、民間主体のエリアマネジメントにより、交流機会の拡大、良好な住環境の維持・向上を図りながら、持続的で魅力あるまちづくりを進めていきます。

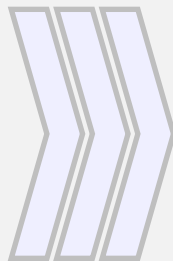


都市再生整備計画区域(宮川・水上)



公園イメージ: 豊田原山公園

課題解決のための
具体的な取組



目指すべき未来像

食、スポーツ、芸術、歴史など多様な文化で人々の心が豊かになるまち、来訪者の増加を通じて地域経済が潤っているまち

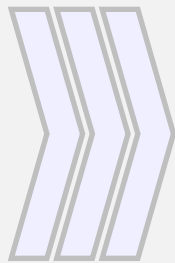
現状と課題

これまでも静岡市は、食、スポーツ、芸術、歴史等の多様な文化資源を活用したまちづくりを進め、観光振興、スポーツ振興、文化芸術活動の支援、文化財の保存等に取り組んできました。

しかし、これらの世界に誇れる文化資源を有しながらも、観光振興による地域経済活性化の視点が十分とは言えず、一人当たりの観光消費額や外国人旅行客数が少ない状況にあります。スポーツにおいては、これまでの健康増進の効果に加え、産業やビジネスによる地域活性化の効果を最大限活用する必要があります。文化芸術では、文化に触れる機会や文化を通じた交流の場はあるものの、より気軽に参加する機会の充実が求められています。また、文化財は、少子高齢化による担い手不足や文化財への関心の低下などにより保存・継承が困難となっており、文化財の劣化や滅失が進行しています。

こうした課題を解決し、観光・スポーツ・文化を通じて、人々が心豊かになるようにするとともに、新たなビジネスの創出や市内への来訪者の増加により、地域経済を活性化することが求められます。

課題解決のための
具体的な取組



文化芸術に親しむまちづくりの推進

★取組概要

おまち周辺

市内で活躍するプロの交響楽団と連携し、オープンスペースや商業施設でのまちかどコンサートや、こども園・学校へのアウトリーチ等を開催することで、日常的に文化芸術に親しむ機会を充実させる。



まちかどコンサート
(静岡駅北口地下広場)



学校訪問コンサート

文化事業への市民参画の推進

★取組概要

駿府城周辺

静岡まつりや大道芸ワールドカップなどの大型文化事業は、多くの市民・企業が参画し実施している。文化事業を通じて、多分野に渡る課題の解決に向け更なる参画を推進していく。



大道芸ワールドカップ



静岡まつり

文化財を活かした蒲原地域のまちづくり検討

★取組概要

由比・蒲原地区

蒲原地域において、地域住民や事業者と連携して地域の将来像や文化財の活用方法を話し合い、具体的に取り組むことで、地域への愛着や誇りを深め、宿場のまちなみを未来へつなぐ。



蒲原地区の文化財建造物
(左・志田邸 右・旧五十嵐歯科医院)